

おかやまの未来について大学生世代の声をかたちにしていくラボ (連携先：協同組合岡山情報文化研究所)

ラボの課題

地域の未来を主役として担う大学生世代の声を、
岡山の未来に関する提言という
かたちにする。



春学期の活動報告

春学期はラボにて担当教員の先生方のレクチャーを受けることで問題意識を持つことができました。

【問題と仮説の設定】

問題：岡山駅周辺の活性重点地域である「西川緑道公園」のイベントの情報が若者に届いていない。

仮説：情報発信はされているが、若者に届くような有効な情報発信ができていないと考える。

問題と仮説をより明確にするための調査が必要であると考えました。

【フィールドワークの実施】

●7/8(金)

岡山市都市整備局 都市・交通部 庭園都市推進課
街なかにながわい推進室を訪問

※西川緑道公園の課題について

レクチャーを受ける。

⇒市役所ではなく事業者による情報発信が主。

⇒イオンモール岡山を見学。



●7/30(土)満月BAR見学及び

満月BAR学生代表にご挨拶

※西川緑道公園で定期的に行われている

飲食イベント「満月BAR」について今後

ヒアリングを実施。



今後の計画・目標

秋期：●西川緑道公園の比較対象として「倉敷ジャズストリート」をヒアリング。

11月5日～6日「第14回倉敷ジャズストリート」の運営参加（予定）。

●比較対象として「問屋町」を調査。

●アンケートを実施し、18歳～22歳の西川緑道公園及び比較対象事例への意識を
調査。また、SNSの利用状況も調査する。

●岡山市と定期的に打ち合わせ。



担当教員：宮脇靖典、横山ひとみ、渡辺圭史、
協同組合岡山情報文化研究所（ビザビグループ）伊藤博則、神田将志

所属学生数：19名

ポスター制作：小野田晶保、佐藤龍王、都築香音、Pramudi、見手倉佳紘、森下尚輝

おかやまの未来について大学生世代の声をかたちにしていこうラボ

ラボの課題



地域の未来を主役として担う大学生世代の声を、岡山の未来に関する提言というかたちにする。

春学期の活動報告

<行った取り組み>

問題と仮説の設定

調査方法の設定

データの収集

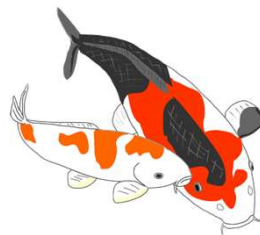


<明らかにしたいこと（仮説）>

- ①岡山市民が歴史や文化に興味を持っているのか
- ②歴史や文化的な場所に岡山市民がどれくらい訪れているのか
- ③日本一住みたい岡山市にするために歴史的・文化的な場所をどう生かせばいいのか

<岡山市の街歩き（後樂園）>

- ・高齢者の方が多かった
- ・路面電車の駅から少し遠く、直通のバスが運行していなかった
- ・駐車場に止まっている車のナンバープレートを観察すると、意外と岡山県車が多かった
- ・高校生以下は入場料無料なので若者を呼ぼうとしているように感じた



<アンケート調査>

- ・調査対象の設定

理大の経営学部

理大の他学科

岡山市民

今後の計画・目標

若い世代以外への調査

調査結果の集計・分析

おかやまの未来構想づくりを担う公的機関への提言

担当教員 : 宮脇靖典、渡辺圭史、横山ひとみ、
協同組合岡山情報文化研究所(ビザビグループ)伊藤博則、神田將志
所属学生数 : 19名
ポスター制作 : 安倉俊輔、田内蓮一郎、岸川稲也、細見珠可、河部優希、花房千景、湯浅廉

おかやまの未来について大学生世代の声をかたちにしていくラボ (連携先：協同組合岡山情報文化研究所)

ラボの課題

- 地域の未来を主役として担う大学生世代の声を、
おかやまの未来に関する提言というかたちにする。



春学期の活動報告

<春学期の活動概要>

- ・岡山市のまちづくり提言書には中心市街地に緑地化を推進するという提言があったが、ゼミ内ではテーマ性の強いまちづくりを推進する声が上がった。
- ・担当教員の3先生から、地域についての考え方・見方を学び、神田先生からは「マーケティング・リサーチ」の体系と手法を学んだ。
↓
- ・各先生の話をもとに、私たちは2つの仮説を設定した。
 - 1.大学生世代は、岡山市の中心市街地に非日常的な体験を求めている。
 - 2.大学生世代は、岡山市の中心市街地に夢の具現化を求めている。

<フィールドワーク>

- ・ゼミ内で決めた仮説内容の実現を目指す具体的な場所をそれぞれ考え、実際に岡山市中心市街地の現状を知る為に視察に訪れた。そして、それぞれ目的の場所で写真を撮った。



今後の計画・目標

<調査対象>

- ・大学生世代(18歳から22歳)とその親世代

<調査方法>

- ・岡山エリアに特化した生活者モニター
(Vinsightと不足した分は機縁法による調査)

<スケジュール>

- ・岡山情報文化研究所と日程調整し、決定する

<狙い>

- ・大学生世代と親世代がそれぞれ中心市街地に求めていることとその違いを岡山商工会議所に提言する。



担当教員：宮脇靖典、横山ひとみ、渡辺圭史
協同組合岡山情報文化研究所(ビザビグループ)
伊藤博則、神田将志
所属学生：19名
ポスター制作：白旗諒、森永篤輝、吉村 晃一郎